

あま市公共施設再配置計画

平成 31 年 3 月

(4) 産業系施設

ア 対象施設(2施設)

産業系施設	■ 七宝産業会館 ■ 甚目寺産業会館
-------	--------------------

イ 現状と課題

(ア) 建物状況

- ・七宝産業会館は、建築後の経過年数がまもなく 40 年となることから、大規模改修の時期を迎えています。
- ・甚目寺産業会館は、甚目寺会館の 2 階に複合化されており、築 30 年以上となっていることから、老朽化が進んでいます。

施設名称	地域	建築年度	経過年数(年)	延床面積(m ²)	構造
七宝産業会館	南部	昭和 55 (1980)	38	937	鉄筋コンクリート造
甚目寺産業会館	東部	昭和 60 (1985)	33	704	鉄筋コンクリート造

(イ) 機能・サービス状況

- ・七宝産業会館及び甚目寺産業会館は地域産業の振興に寄与するために設置された施設であり、いずれも指定管理者制度によって運営されています。
- ・施設内は、会議室及び研修室の市民利用の部屋が主となっており、展示会、講演会、研修会、商工業者の会議等に幅広く利用されています。
- ・七宝産業会館の 1 日平均利用者数は 35.1 人で貸室の稼働率は 44%、甚目寺産業会館の 1 日平均利用者数は 23.7 人で貸室の稼働率は 23%となっています。

施設名称	年平均利用者数(人/年)	1 日平均利用者数(人/日)
七宝産業会館	10,435	35.1
甚目寺産業会館	7,040	23.7

(ウ) 市民ニーズ(アンケート結果)

- ・七宝産業会館及び甚目寺産業会館は、大半が『統廃合や施設内容の変更などをすべき』と回答しています。

ウ 再配置方針

- ・七宝産業会館は、建築後の経過年数がまもなく 40 年となり老朽化が進んでいることから、市民活動センターの機能を新庁舎に移転したのち、建物は解体を基本方針とし、利活用検討委員会に諮り、利活用を検討します。
- ・甚目寺産業会館は、建物全体（甚目寺会館）の修繕を行い、あま市商工会も含め民間への譲渡を検討します。（1 階の教育相談センターは、既存のスペースを民間より借用し、3 階の甚目寺歴史民俗資料館の機能は、美和歴史民俗資料館へ統合）

【ロードマップ】

施設名称	延床面積 (m ²)	経過 年数 (年)	実施時期（上段：機能、下段：建物）				
			第 期	第 期	第 期	第 期	第 期
七宝産業会館	937	38	廃止				
			解体				
甚目寺産業会館 （甚目寺会館内）	704	33	廃止				
			譲渡				

「譲渡」と評価したものであっても、実施不可の場合は、解体を基本とします。

エ 再配置の実現に向けた留意事項

(7) 譲渡の条件

- ・甚目寺会館は、民間事業者による有効活用が期待されます。

(1) 跡地活用の検討

- ・七宝産業会館の跡地は、利活用検討委員会に諮り、利活用の方針について検討します。

(5) 学校教育系施設

ア 対象施設 (21 施設)

学校	■ 七宝小学校 ■ 宝小学校 ■ 伊福小学校 ■ 秋竹小学校 ■ 美和小学校 ■ 正則小学校 ■ 篠田小学校 ■ 美和東小学校 ■ 甚目寺小学校 ■ 甚目寺南小学校 ■ 甚目寺東小学校 ■ 甚目寺西小学校 ■ 七宝中学校 ■ 七宝北中学校 ■ 美和中学校 ■ 甚目寺中学校 ■ 甚目寺南中学校
その他教育施設	■ 七宝学校給食センター ■ 美和学校給食センター ■ 甚目寺学校給食センター ■ 教育相談センター

イ 現状と課題

(ア) 建物状況

- ・市内全ての小中学校において、建築後の経過年数が 30 年以上となっていることから、老朽化が進んでいます。また、そのうち 10 校は築 40 年以上を経過しており、大規模改修の時期を迎えています。対策の優先順位を検討し、計画的な大規模改修を行うための長寿命化計画の策定が必要となっています。
- ・教育相談センターは、甚目寺会館の 1 階に複合化されており、築 30 年以上となっていることから、老朽化が進んでいます。

施設名称	地域	建築年度	経過年数(年)	延床面積(m ²)	構造
七宝小学校	南部	昭和 54 (1979)	39	8,098	鉄筋コンクリート造
宝小学校	南部	昭和 49 (1974)	44	4,869	鉄筋コンクリート造
伊福小学校	南部	昭和 49 (1974)	44	5,584	鉄筋コンクリート造
秋竹小学校	南部	昭和 53 (1978)	40	5,260	鉄筋コンクリート造
美和小学校	西部	昭和 49 (1974)	44	5,920	鉄筋コンクリート造
正則小学校	西部	昭和 51 (1976)	42	4,837	鉄筋コンクリート造
篠田小学校	西部	昭和 55 (1980)	38	5,086	鉄筋コンクリート造
美和東小学校	西部	昭和 59 (1984)	34	4,994	鉄筋コンクリート造
甚目寺小学校	東部	昭和 45 (1970)	48	7,146	鉄筋コンクリート造
甚目寺南小学校	東部	昭和 48 (1973)	45	6,341	鉄筋コンクリート造
甚目寺東小学校	東部	昭和 50 (1975)	43	6,206	鉄筋コンクリート造
甚目寺西小学校	東部	昭和 55 (1980)	38	4,648	鉄筋コンクリート造

施設名称	地域	建築 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)	構造
七宝中学校	南部	昭和 55 (1980)	38	8,921	鉄筋コンクリート造
七宝北中学校	南部	昭和 54 (1979)	39	6,946	鉄筋コンクリート造
美和中学校	西部	昭和 50 (1975)	43	9,971	鉄筋コンクリート造
甚目寺中学校	東部	昭和 42 (1967)	51	10,404	鉄筋コンクリート造
甚目寺南中学校	東部	昭和 57 (1982)	36	9,094	鉄筋コンクリート造
七宝学校給食センター	南部	昭和 46 (1971)	47	802	鉄筋コンクリート造
美和学校給食センター	西部	昭和 52 (1977)	41	1,483	鉄筋コンクリート造
甚目寺学校給食センター	東部	昭和 48 (1973)	45	1,258	鉄骨造
教育相談センター	東部	昭和 60 (1985)	33	672	鉄筋コンクリート造

(1)機能・サービス状況

- ・施設の規模として、宝小学校、秋竹小学校、七宝北中学校は、学級数が標準より少ない学校となっています。一方で、甚目寺小学校、甚目寺南小学校、甚目寺東小学校は、学級数が標準より多い学校となっており、施設の規模と児童・生徒数がアンバランスになっています。
- ・教育相談センターは、いじめ、不登校を生まない環境づくりと早期対応に向けた取組や不登校児童生徒に対する相談・支援体制の充実を図るための施設となっています。

施設名称	年平均児童・生徒数 (人/年)	普通学級数
七宝小学校	505	15
宝小学校	175	6
伊福小学校	405	12
秋竹小学校	149	6
美和小学校	423	12
正則小学校	278	11
篠田小学校	325	12
美和東小学校	365	12
甚目寺小学校	647	19
甚目寺南小学校	866	24
甚目寺東小学校	695	20
甚目寺西小学校	330	12
七宝中学校	509	14

5 施設毎の再配置計画の策定

施設名称	年平均児童・生徒数 (人/年)	普通学級数
七宝北中学校	205	6
美和中学校	690	18
甚目寺中学校	690	18
甚目寺南中学校	623	17
教育相談センター	26	-

普通学級数は、平成 28 (2016) 年度学校施設台帳による

ウ 再配置方針

- ・秋竹小学校を始めとした学級数が標準より少ない学校については、機能の統合を検討します。また、余裕教室の増加が見込まれる学校については、これを解消するために、機能の複合化も検討します。
- ・七宝学校給食センター、美和学校給食センター及び甚目寺学校給食センターは、3 施設の機能を統合する新学校給食センターの供用開始に伴い、廃止します。既存の学校給食センターの建物は、解体を基本方針とし、利活用検討委員会に諮り、利活用を検討します。
- ・教育相談センターは、心休まる静かな環境・学習や軽い運動ができるスペースに加え、不特定多数の方との接触がないような状況を確保できる施設が必要であるため、当面は民間へ譲渡された甚目寺会館の一階部分（これまでと同じスペース）を借用し、将来的に、施設の再配置により生じた空きスペースへの移転を検討します。

【ロードマップ】

施設名称	延床面積 (㎡)	経過 年数 (年)	実施時期（上段：機能、下段：建物）				
			第 期	第 期	第 期	第 期	第 期
七宝小学校	8,098	39	複合化	→	→	→	→
			改修	→	→	→	更新
宝小学校	4,869	44	(継続)	→	→	→	→
			→	改修	→	更新	→
伊福小学校	5,584	44	複合化	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
秋竹小学校	5,260	40	→	統合			
			→	解体			
美和小学校	5,920	44	(継続)	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
正則小学校	4,837	42	(継続)	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
篠田小学校	5,086	38	(継続)	→	→	→	→
			→	改修	→	→	更新
美和東小学校	4,994	34	(継続)	→	→	→	→
			→	改修	→	→	更新

施設名称	延床面積 (㎡)	経過 年数 (年)	実施時期（上段：機能、下段：建物）				
			第 期	第 期	第 期	第 期	第 期
甚目寺小学校	7,146	48	複合化	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
甚目寺南小学校	6,341	45	（継続）	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
甚目寺東小学校	6,206	43	（継続）	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
甚目寺西小学校	4,648	38	（継続）	→	→	→	→
			→	改修	→	→	更新
七宝中学校	8,921	38	（継続）	→	→	→	→
			→	改修	→	→	更新
七宝北中学校	6,946	39	（継続）	→	→	→	→
			→	改修	→	→	更新
美和中学校	9,971	43	（継続）	→	→	→	→
			改修	→	→	更新	→
甚目寺中学校	10,404	51	（継続）	→	→	→	→
			改修	→	更新	→	→
甚目寺南中学校	9,094	36	（継続）	→	→	→	→
			→	改修	→	→	更新
七宝学校給食センター	802	47	統合				
			解体				
美和学校給食センター	1,483	41	統合				
			解体				
甚目寺学校給食センター	1,258	45	統合				
			解体				
教育相談センター （甚目寺会館内）	672	33	（継続）	→	→	→	→
			借用				

面積算定上、秋竹小を解体としておりますが、秋竹小に限定するものではありません。統合については小中一貫校も含め適正規模に配慮します。

エ 再配置の実現に向けた留意事項

(ア) 学校施設長寿命化計画の策定

- ・市内の小中学校のほぼ全てが、長寿命化（更新 80 年）を前提とした場合の大規模改修を実施する時期が到来しており、一律で対策を行っていくことは財政面から現実的ではありません。
- ・今後の児童・生徒数の予測に基づき、学校規模の適正化に配慮した上で、優先順位を定め、減築や建替えも含めた検討を行い、適切な学校施設長寿命化計画を策定する必要があります。

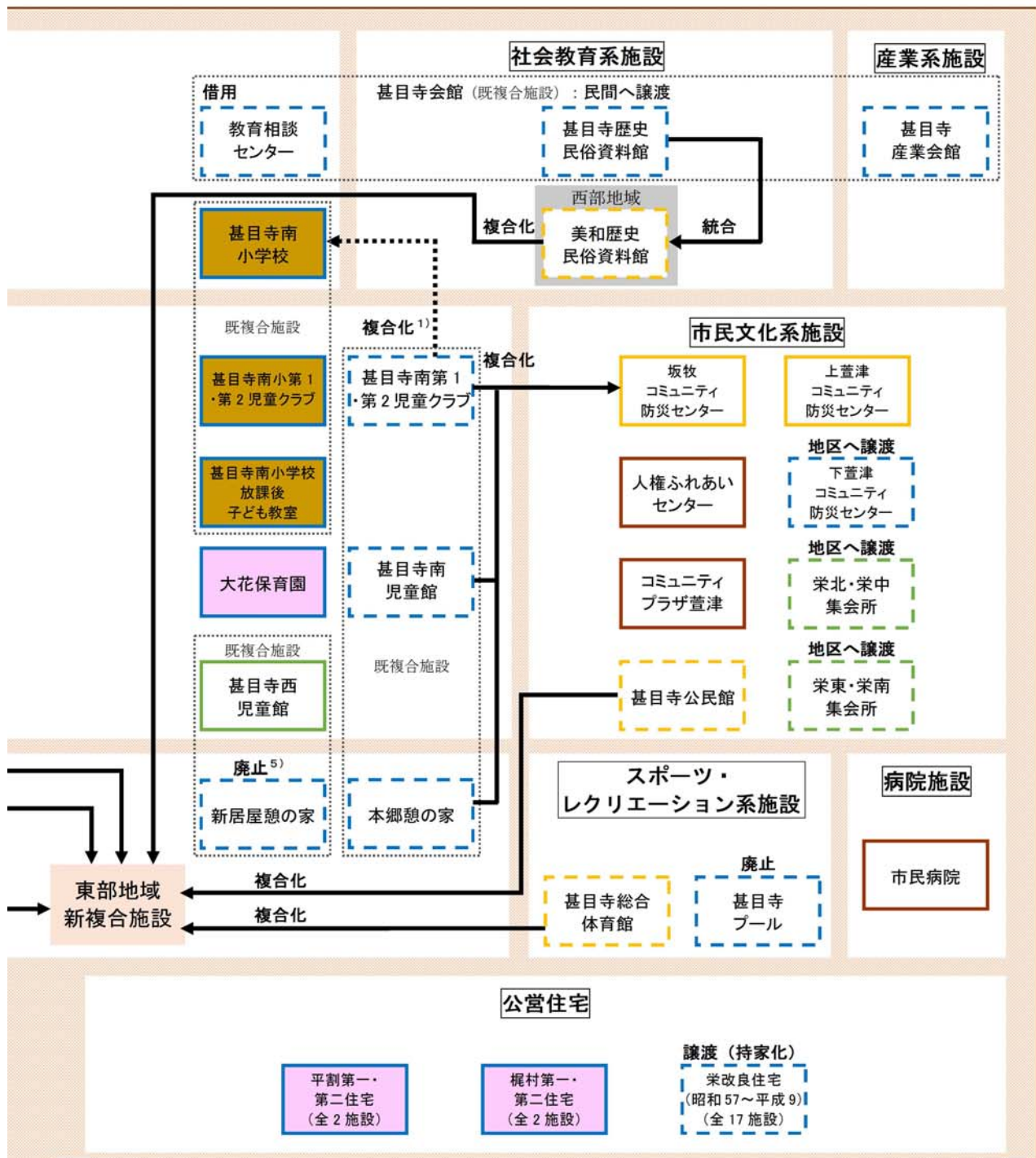
5 施設毎の再配置計画の策定

(イ)複合化の条件

- ・市民ワークショップにおけるモデルケースの議論の結果をもとに、学校に複合化することが可能と考えられる機能（施設）として、多世代交流スペース、児童館機能、公民館機能（図書室・家庭科室・音楽室の開放）自習スペースについて、実現に向けた検討、調整を行っていきます。
- ・学校への複合化が困難な場合には、余裕教室を集約し、棟数を減らすなどの減築を考慮する必要があります。

(ウ)統廃合・学区再編について

- ・適正規模化に向けた統廃合や学区再編については、前回の「あま市立小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書（平成 23 年 12 月）」から 10 年が経過した時期を目的に、小中一貫校も含めた見直しを検討していきます。

(延床面積 50 m²未満は計画対象外)


- 1) 将来的に児童クラブを学校に複合化
- 2) シルバー人材センター事業を統合
- 3) デイサービス事業を統合
- 4) 基目寺総合福祉会館の高齢者が集う機能を新施設に複合化
- 5) 新居屋憩の家の機能を廃止 (全館を基目寺西児童館とする。)

凡例	第Ⅰ期 H29～H38	第Ⅱ期 H39～H48	第Ⅲ期 H49～H58	第Ⅳ期 H59～H68	第Ⅴ期 H69～H78	
維持管理施設	施設名称	施設名称	施設名称	施設名称	施設名称	外枠実線は改修 塗りつぶしは更新
統合等施設	施設名称	施設名称	施設名称	施設名称	施設名称	